

令和7年度（2025年度）第6回宝塚市上下水道事業審議会 書面審議結果

意見募集期間：令和7年9月22日（月）～10月6日（月）

Ⅰ 下水道事業経営戦略(案)について

No.	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			内容	修正
1	全般 (5～13)	P5～P13あたりまで説明文字が小さく読み辛い箇所がありますが、事業概要や課題等グラフを使いながら説明をする必要があり、ある程度はやむを得ないと理解しています。 P14以降についてはグラフや写真等を使いながらの説明が多く、ある程度の知識がある一般市民であれば内容を理解できるかと思います。技術的なこと、専門的なことについては不知ですので細かい指摘については出来かねます。	ご意見ありがとうございます。 P5～P13までの文字をできる限り調整します。	有
2	全般	老朽化が進む管路などの更新計画と予算確保が課題であり、点検と老朽化対策は必須です。汚水処理場、ポンプ場、管路などの整備費用は莫大であり計画的に取組む必要があります。	ご意見ありがとうございます。 上下水道耐震化計画やストックマネジメント計画に基づき計画的な整備に取り組みます。	無
3	全般	下水道使用料、料金改定、設備更新の必要性など市民に理解を得るプロセスは非常に大切です。	ご意見ありがとうございます。 丁寧な市民説明に努めてまいります。	無
4	全般	中央監視設備更新が進んでいるが、更にDX等の余地保全ができる体制作りに注力願います。	ご意見ありがとうございます。 順次DX等を活用した効率的な事業運営体制作りに注力してまいります。	無
5	全般	地震・豪雨等の自然災害に対する浸水対策、排水能力、設備耐震化などへの取組は引き続き大きなテーマとして市民の期待に応えて頂きたい。	ご意見ありがとうございます。 引き続き取り組んでまいります。	無
6	全般	下水道事業におけるPPP/PFIなどの導入も視野に入れて、将来的な運営方式の多様化に取組むことも考えるべきです。但し、契約内容が漸弱であると長期的には割高になったり品質低下のリスクが伴います。	ご意見ありがとうございます。 今後の事業環境に則した運営方式について、様々な視点から検討を続けてまいります。	無
7	全般	技術職員の高齢化や減少、技術継承不足が喫緊の課題となってきます。新規採用や外部委託について戦略的に取組む必要があると考えます。	ご意見ありがとうございます。 職員の採用、外部委託などについても今後の事業量を踏まえて様々な視点から検討を続けてまいります。	無
8	全般	経営戦略の内容そのものに大きな修正が必要だとは感じないが、どのように説明するかがとても大切。特に財政計画の部分については、預金と借入と使用料の関係をわかりやすく伝えて市民への理解を求めているいただきたい。	ご意見ありがとうございます。いただきましたご意見を今後の市民説明に活かして参りたいと思います。	無
9	財政計画	使用料の改定を試算するにあたっては、ほとんどの自治体が標準とされる3.0%の資産維持率を設定できていないのが現状である。そのため、今回の資産維持率（1.0%）が宝塚市にとって妥当であるということを他市の状況や固定資産のうち1%でどこまでの管路や施設をカバーできるのかなどに基づいて示せるとよい。	ご意見ありがとうございます。 いただきましたご意見を参考に、資産維持率の設定方法について根拠整理を行い、市民や市議会への説明に努めてまいります。	無
10	財政計画 (38)	また、使用料改定において必要な概算額なども示した方がいいのではないか。	ご意見ありがとうございます。 収支の不足する額を記載します。	有

令和7年度（2025年度）第6回宝塚市上下水道事業審議会 書面審議結果

意見募集期間：令和7年9月22日（月）～10月6日（月）

Ⅰ 下水道事業経営戦略(案)について

No.	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			内容	修正
11	財政計画 (41)	使用料改定の検討を行う場合も「%」だけではなく、具体的な「金額ベース」で伝える方が、インパクトが小さく、伝わりやすいこともあるので検討いただきたい。	ご意見ありがとうございます。 参考値として、標準世帯における概算金額を追記します。	有
12	財政計画	今後も使用料を引き上げ続けることになる、それも水道・下水道ともにそうだということであれば、例えば一度に大きく改定するのではなく小刻みにする、また同時改定は避けるなどの提案を行ってもよいかと思う。	ご意見ありがとうございます。 水道と下水道ともに計算期間内に料金及び使用料の改定が必要と見込んでおり、時期をずらす場合は、改定率にも一定の影響が出る可能性もあることから、今後、料金改定に関する本格的な議論を行う際には、いただきましたご意見も参考に慎重に検討を行ってまいります。	無
13	財政計画	使用料の改定が見込めた場合、一般会計繰入金のうち基準外の繰入金については、健全で自立的な経営のためにいったん計画期間内にて減額するとのことであるが、将来的に再度更新が本格的となり、使用料だけで更新が難しい状況になった場合は、どのように対応するのか。	ご意見ありがとうございます。 将来的に更新費用の増加等に伴い分流式下水道に要する経費が国の基準を超える場合には、使用料だけではなく、その超える部分について、基準内繰入金として一般会計からの繰入を受け入れることが可能となります。	無
14	全般	8月の書面会議の資料(縦見開き形式)から、今回の資料(横スライド形式)へと大きく変化していますが、今回の資料は説明用の資料なのか、8月の時の資料の形式は取りやめて、今回の形式とするのか？	ご意見ありがとうございます。 8月の書面審議は「ビジョン」(縦)、9月の書面審議は「経営戦略」(横)となっておりそれぞれ形式が異なります。経営戦略をあえて横スライド形式としているのは、市民や議会説明の際の資料を兼ねているためです。	無
15	9	コロナ後に、見直しを行ったにもかかわらず、実績の有収水量が、下回っている理由は何か？この検証ができていないと、次期の計画も過大な計画になってしまわないか？	ご意見ありがとうございます。 経営戦略の中間見直しは、令和3年8月に策定を行いました。その時点では、令和2年度の有収水量までが分かっており、令和2年度は、コロナ禍での在宅時間の増加などから有収水量は増量となっていました。その傾向が続くのか大きく落ち込むのか策定時点では見通すことが難しく、一定程度手洗いやうがい、リモートワークでの在宅勤務などが継続すると見込みましたが、実績の有収水量は想定を下回る結果となりました。今回策定の経営戦略では、令和2年度・令和3年度の実績値は異常値として除いて試算しており、コロナ禍の一時的な水量増加による影響は受けない推計としています。	無

令和7年度(2025年度)第6回宝塚市上下水道事業審議会 書面審議結果

意見募集期間: 令和7年9月22日(月)～10月6日(月)

I 下水道事業経営戦略(案)について

No.	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			内容	修正
16	11 (11)	流域下水道建設負担金について、負担金はわからないことも多いと思いますが、R7が大きくなるのは、特別な建設イベントなどが予定されており、高くなっているのか、物価高騰などの影響で高くなっているのか(つまり、恒常的なものとなるのか、一時的なものなのか)説明がほしい。	ご意見ありがとうございます。 R7の見込は予算ベースで計上している旨の記載をしていますが、実際には補助金の内示率に応じて事業費が増減するものの、予算ベースとしては恒常的なものである旨を追記します。	有
17	8～12 (8～12)	現行経営戦略の検証部分において、「経営戦略」「下水道事業経営戦略(中間見直し)」「計画後期(R3-R7)の財政計画の見直し」など、同義が異なる表現で示されており、読み手がどれのことを指しているのかわかりにくいのではないかと。図中やまとめの経営戦略と表現されているものが、どのことを指すのか、明示的に示した方がよいと思われる。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘の内容を参考に「経営戦略(中間見直し)」で統一し、表現を整理します。また、グラフ中の「経営戦略」が「経営戦略(中間見直し)」の意である旨を記載します。	有
18	10 (10)	「経常収益は、有収水量の減少により下水道使用料の実績値が経営戦略を下回っています。」の部分について、「実績値」の主語をわかりやすくし、「経常収益の実績値は」とする。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり修正します。	有
19	10 (10)	「これらの結果、経営戦略では計画後期において…」の部分について、ここでの「経営戦略」はずっと「計画後期の経営戦略」を指しているのではないかと(先に示したどのことを指しているのかわからないということとつながっています)。そのため、ここであえて「計画後期」とすると、二重に記述していることになるのではないかと。そのため「計画後期」というのは不要では？	ご意見ありがとうございます。 ご指摘の内容を参考に「経営戦略(中間見直し)」で統一し、表現を整理します。また、グラフ中の「経営戦略」が「経営戦略(中間見直し)」の意である旨を記載します。	有

令和7年度(2025年度)第6回宝塚市上下水道事業審議会 書面審議結果

意見募集期間:令和7年9月22日(月)~10月6日(月)

Ⅰ 下水道事業経営戦略(案)について

No.	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			内容	修正
20	11 (11)	「汚水事業」「流域下水道建設負担金」について、表現を合わせるなら「実績値」	ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり修正します。	有
21	32 (32)	投資計画について、この図の説明はないのでしょうか？	ご意見ありがとうございます。 説明を追記します。	有
22	33	下水道使用料の見直しについて、R3の見直して、有収水量が実績値を下回ったことに対して、どのような考慮をされましたか？	ご意見ありがとうございます。 経営戦略の中間見直しでは、令和3年度以降も一定程度手洗いやうがい、リモートワークでの在宅勤務などが継続すると見込んだため、実績の有収水量が下回る結果となりましたが、今回策定の経営戦略では、令和2年度・令和3年度の実績値は異常値として推計の根拠から除いて試算しており、コロナ禍の一時的な水量増加による影響は受けないう考慮しています。	無
23	31	投資計画の考え方①について、きっとそうなると思いますが、雨水管理総合計画策定前に、優先順位付けが確定しているような表現をしても大丈夫でしょうか？	浸水実績があり宝塚市水害危険予想箇所に指定されている3区域について優先的に対応する方針としており、その後、雨水管理総合計画の策定や計画に基づく浸水対策を検討しています。	無

令和7年度(2025年度)第6回宝塚市上下水道事業審議会 書面審議結果

意見募集期間: 令和7年9月22日(月)～10月6日(月)

I 下水道事業経営戦略(案)について

No.	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			内容	修正
24	36	運転資金について、水道は4カ月で、下水道が2カ月の理由はなぜでしょうか？	ご意見ありがとうございます。 水道と下水道では職員数や施設数などの事業規模が異なること、水道の場合には使用者への供給・回収までに浄水等の事前のコストが大きく発生するなど、下水道とのコスト構造の違いを考慮し、それぞれの月数を設定しています。	無
25	42	R12年度の経費回収率について、やはり100%以上とされていないのは気になる。もし、経常収支比率が100%を超えているから、R12の回収率が100未満で良いと考えているのだとすれば、指標を回収率ではなく、経常収支比率とした方が良いのでは？	ご意見ありがとうございます。 下水道については、計画期間内において基準外繰入金を段階的に減らし、自立的な経営にしていくこととしており、急激に経費回収率を100%にするのではなく、段階的に経費回収率を向上させる計画としています。段階的に経費回収率を100%以上とすることが国の求める下水道事業のロードマップとも整合しており、これらを考慮した上で指標および目標値を設定しています。	無

令和7年度(2025年度)第6回宝塚市上下水道事業審議会 書面審議結果

意見募集期間: 令和7年9月22日(月)～10月6日(月)

I 下水道事業経営戦略(案)について

No.	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			内容	修正
26	42	企業債残高対事業規模比率について、水道は400%なのになぜ下水は300%? (聞き方的には逆でしょうか。下水は300%なのに、なぜ上水は400%?) バックキャストिंग的発想が必要な計画行為に対して、フォアキャストिंग的発想に なっている点が気になります。	ご意見ありがとうございます。 企業債残高対事業規模比率については、水道・下水道の事業の経過年数 や更新のピークが異なることなど、それぞれの特徴に応じて設定しており、 同じ値を目標とするものではないと考えています。	無
27	3～17	経営戦略は、ビジョンに合わせた各事業の試算と投資計画からのスライドに相当すると 考えられるが、ご提案の経営戦略は前半が多く、後半の内容がぼやけてしまっている。 ビジョンについても公開するのであれば、ビジョンに書いているような内容は経営戦略 から外して、P.18以降の内容でまとめる方がすっきりすると考えられる。	ご意見ありがとうございます。 ビジョンと経営戦略は同じ時期に公表を予定していますが、同時に全てに 目を通していただけるとは限らないため、経営戦略単体でもなるべくご理 解いただけるよう現在の形にしています。 経営戦略策定・改定マニュアルにおいては、(1)事業概要(2)将来の事 業環境(3)経営の基本方針(4)投資・財政計画(5)経営戦略の事後検 証、改定等に関する事項の記載が求められております。10月27日のご審 議において、皆様にご意見をいただき、前段(1)(2)部分が多すぎると いうご意見が多いようであれば、現行経営戦略後期の検証を巻末資料に 落とし、構成の変更を検討します。	未
28	40 (40)	P.40のところで設定されている条件は重要であるが理解しにくい。赤字の設定の根拠 を説明するか、何かの条件を満足するように設定しているのだろうが、それがわかるス ライドを入れてほしい。	ご意見ありがとうございます。 P40の赤字部分についての設定根拠は、P35の財政計画の検討方針及 びP39財政計画の考え方に示したとおりですが、考え方を一部補足した 上で、P40の試算条件の赤字部分に参照ページを記載します。	有

令和7年度(2025年度)第6回宝塚市上下水道事業審議会 書面審議結果

意見募集期間: 令和7年9月22日(月)～10月6日(月)

I 下水道事業経営戦略(案)について

No.	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			内容	修正
29	41 (41)	水道、下水道ともに、改定が2回にわたって行われることが書かれている。一回目の改定率は、現在の料金に対する改定率であるが、2回目の改定率は、1回目の改定率で改定された料金に対する比率なのか、現水道料金に対する改定率なのか、不明である。うまく説明する必要があるように思います。	ご意見ありがとうございます。 1回目の改定は現在の料金を、2回目の改定は1回目の改定をベースとしたものとなります。わかりやすいようその旨を追記します。	有
30	19	PI9 経営の基本方針 市民の下水道への理解を形成し民間企業や上水道との連携を強化する と、初めから結論ありきでひどく傲慢な態度で看過できません。削除してください! 官民連携の推進と上下水道 ↓ 官民連携の検討と訂正する。 取組項目(10) 官民～中略～(ウォーターPPPによる官民連携の推進)を、官民連携の検討と訂正する。 民間企業の創意工夫により更なる事業費の低減も期待できるためと、初めから結論ありきですか?ひどく傲慢な態度ですね。削除してください!	ご意見ありがとうございます。 ビジョンの取組項目に関する柱の抜粋箇所となりますので、10月10日に実施いたしましたビジョンのご審議での結論を反映し、このままの表現とさせていただきます。	無
31	27	P27 安定経営 特に、ウォーターPPPにより～中略～対応できるよう取り組みます。 を削除し、 人員を増員することなく対応できるようにできるかどうかを研究します。 と訂正する。	ご意見ありがとうございます。 ビジョンの取組項目に関する箇所となりますので、10月10日に実施いたしましたビジョンのご審議での結論を反映し、このままの表現とさせていただきます。	無

令和7年度（2025年度）第6回宝塚市上下水道事業審議会 書面審議結果
意見募集期間：令和7年9月22日（月）～10月6日（月）

I 下水道事業経営戦略(案)について

No.	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			内容	修正
32	29	P29 取組項目（10）官民連携の <u>推進</u> と上下水道一体化の <u>取組</u> （ウォーターPPPによる官民連携の推進） ↓ 取組項目（10）官民連携の <u>検討</u> と上下水道一体化の <u>検討</u> （ウォーターPPPによる官民連携の検討）	ご意見ありがとうございます。 ビジョンの取組項目に関する柱の抜粋箇所となりますので、10月10日に実施いたしましたビジョンのご審議での結論を反映させていただき、このままの表現とさせていただきます。	無